

消防学校だより

令和2年5月号

発行年月日 令和2年5月29日
発行 宮崎県消防学校

★機械器具取扱訓練

機械器具取扱訓練を実施しました。

消防は、各種災害現場でその任務に適した多数の資器材を用いますが、使用方法を誤れば大きな事故を起こしてしまいます。

使用する資器材で事故を起こさないように各種資器材の諸元を理解し、取扱方法を学習しました。

空気呼吸器取扱



空気式ジャッキ取扱



空気鋸取扱



スプレッター取扱



スーパーカッター取扱



救命策発射銃取扱



チェーンソー取扱



削岩機取扱



エンジンカッター取扱



掘削訓練



★校長点検

第 65 期初任科総代 上床学生の指揮で初めて学校長点検を受けました。

訓練礼式をとおり服装、姿勢とともに、厳正な規律を身につけさせ、迅速的確な行動ができるように指導していきます。



★救急法指導講習

救急法の授業を行いました。消防職員は、自らが救急法をしっかりと出来る事はもちろんですが、多くの住民の方に対してわかりやすく指導を行わなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、救急蘇生法の指針 2015(市民用)の追補など環境の変化に適した指導を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の疑いがある傷病者への「救急蘇生法の指針 2015(市民用)」における「一次救命処置」・・・反応の確認や、呼吸観察時に 傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする。 胸骨圧迫を行う際には、エアロゾルの飛散を防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にそれをかぶせるように変更など・・・



★大規模災害対応訓練

5月14日(木)の課業終了後から15日(金)早朝にかけて訓練を実施しました。

想定は、「日向灘沖を震源とする大規模地震により、宮崎市木花及び赤江地区に甚大な被害が発生」との指令により活動を開始しました。

17時15分に指令を受けた学生は、ベースキャンプと見立てた屋内訓練場に個人装備、寝具等をまとめて集結し、夜間活動に必要な発電機、照明、仮眠場所の確保後、訓練想定場所である木崎浜に駆け足で部隊移動をしました。

木崎浜の浜辺等にいた8名の要救助者(訓練用ダミー)を担架や徒手搬送で消防学校まで約5Km搬送しました。

帰校後、野営訓練等を行い15日(金)早朝に無事訓練終了しました。

指令後、寝具をまとめて屋内訓練場に移動



仮眠場所の確保

木崎浜へ駆け足で出動



現場到着

要救助者を確保し消防学校まで搬送



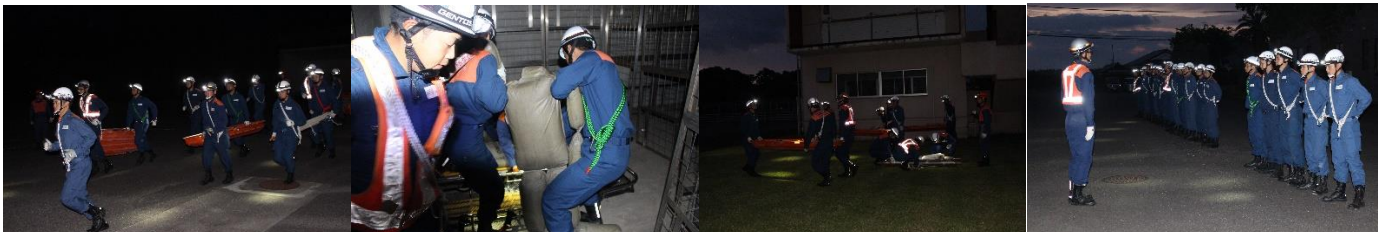
ミーティング

午前4時30分 出動指令



仮眠

出動(主訓練塔・副訓練塔から8名の要救助者を発見、搬送し訓練終了



★慰霊祭

5月19日(火)、宮崎県消防協会主催で慰霊祭が執り行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、来賓及び初任科生の参列はとりやめ、消防協会長、消防長会長、消防協会事務局長、消防学校長のみの参列で行われました。

宮崎県の消防を代表され4名の皆様が先人の御霊に対しこれまで以上に安全管理に気を配り、殉職者を出さないよう誓いました。



高橋会長 杉村局長 高林校長 松山事務局長



★消防機器取扱効果測定

三つ打ちナイロンロープによる基本結索や器具結索をはじめ、空気呼吸器等の名称や着装など機器取扱訓練で実施した訓練の効果の確認を行いました。各種資機材の諸元をしっかりと理解させ、適切な取扱をさせることで消防活動時の安全管理に役立てます。



★消防活動訓練

訓練前には、これからの暑さに適応できるよう防火服を着装してのランニングを行っています。各自、体調管理には気をつけ訓練に挑んでおります。

消火活動はまずはホースを伸ばすことから始まりますが、適切に伸ばせなければ水を出せません。体が覚えるまで繰り返し実施しています。



6月の主な行事

●第31期救助科 6月25日(木)～7月22日(水)

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp